

◇令和7年度 北海道岩見沢高等養護学校 学校運営協議会 委員◇

- ・横山 孝博 様（岩見沢あかり家 施設長）
- ・細川 和則 様（社会福祉法人 北海道社会福祉事業団
福祉村 総合施設長）
- ・瀬尾 正徳 様（新東町団地自治会長）
- ・大山 祐太 様（北海道教育大学岩見沢校 准教授）
- ・疋田 博和 様（岩見沢市立東小学校 校長）
- ・横田 佳奈 様（岩見沢市立東小学校 PTA 会長）
- ・山田 努 様（岩見沢市健康福祉部福祉課長）
- ・石崎 健治 様（岩見沢商工会議所専務理事）
- ・金田 貴彦 様（北海道岩見沢高等養護学校 PTA 会長）
- ・野中 宏 様（本校 校長）

令和7年度 第1回 学校運営協議会（記録）

1 日 時 令和7年7月2日（水）10：00～12：00

2 場 所 北海道岩見沢高等養護学校 会議室

3 次 第

○委嘱状交付 後日交付。

○校長挨拶

○運営者自己紹介

・それぞれ自己紹介

○運営協議会委員自己紹介

・それぞれ自己紹介

○委員長、副委員長の選任

委員長…横山 孝博 様 副委員長…細川 和則 様

○日程説明

別紙の通り

○授業見学（第2校時）

各教室、体育館などでの学校祭に向けての取組の様子を見学した。

○説明と意見聴取

（1）令和7年度学校経営方針について説明（校長）

今年度の重点は「自立した社会参加と自己実現に向け、一人一人の意欲と可能性を引き出し、これからの社会を生きていくための資質と能力、心を育てる～“生徒が主語”となる教育活動の充実と教育課程の改善への取組～」である。「これからの社会」は、「VUCA（ブーカ）の時代」と言われ、先行きが不透明で、将来

の予測が困難な状態の時代である。そういった時代であることをまず教師が認識し、その中で育むべき資質・能力を生徒に身につけさせていく。そのために、教務・舎務・事務が連携した持続可能な教育環境整備をし、人権意識を持った指導に努めていきたい。（別紙資料あり）

→質疑なし。承認を得る。

（２）本校の教育活動について説明（教頭）

肢体に不自由のある生徒に対し、高等学校に準じた教育を行っている。また、心身の健康保持・体力向上に関する指導として自立活動を設定。個別の教育支援計画や個別の指導計画を策定し、各教科や学校行事など教育活動と関連させて進めている。学科は普通科と職業科（工業科・商業科・生活科学科）があり、特に職業科では基礎的・基本的な知識と技術を学ぶことができる。学習にあたっては、生徒の個々の習熟度や特性に合わせて習熟度別グループでの学習を行っている。今年度は評価の区切りに合わせ、２期制を実施。進路支援については、進路見学会や職場実習など学年に応じて必要な内容を実施している。生徒会活動や部活動も盛んに行われている。高文連へも毎年参加しており、昨年度は放送局が全道大会出場を果たした。

（別紙資料あり）

（３）これまでの主な教育活動の報告（教頭）

今年度４月から行われた主な行事（入学式、見学旅行、岩見沢農業高校との交流、一日防災学校、一学年進路見学会）の様子について、資料とともに写真を紹介しながら説明。

４ 協議

テーマ「地域とのつながりを深め、広げる学校」について

地域とのつながり、学びのつながりを深め広げる“岩見沢高等養護学校”

～社会人としての基盤づくりにつながる 高校生活の学びと体験の拡充～

◇協議の内容・各委員からの意見など

- ・ 日本では性教育が進みにくい。性に関するテーマが個によって違ってくるかと思う。今後も岩見沢高等養護学校と岩見沢教育大学とが有機的につながりを持てたらと思う。
- ・ 児童福祉の方でも“ウェルビーイング”、その広がりが課題である。これを地域にどのように展開していくかを考えている。教室にはエアコンが設置されているようだが、廊下の暑さは福祉村も同じ状況である。熱中症対策が義務化されたこともあり、授業中も適宜水分補給を行えるのがいいと思う。
- ・ 授業を参観させていただいた。化学の授業では化学記号の覚え方が興味深かった。美術の授業では切り絵を彫刻刀ではなくカッターで行っていたのも印象に残った。

昨年のドローンの活動の様子はどうだったのか？

→横山さんのお力添えもあり、2回ほど実施させていただいた。特に2回目のドローンサッカーは生徒達から面白かったと感想を聞いている。生徒達の卒業後の進路においてもよい影響があったと考えている。

- ・ 私達は学校を支える立場で、プロフェッショナルな人達の集まりでもある。校長の考えを進めていただけたらと思う。
- ・ 授業参観などから、いろんなこと、すごいことをやっていると感じた。多くの人に知ってもらえるといいと思う。
- ・ 生徒のことを中心に考えられていると感じた。基本的理念は変わらない。私達の立場でできることをやっていきたい。卒業後も岩見沢で暮らしてもらえたらと思う。

○校長挨拶